

令和2年3月10日(火)に開催した令和2年度第3回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

### 1 協議事項

#### (1) 公立大学法人静岡文化芸術大学 令和2年度 年度計画(案)について

##### ア 趣旨

高田理事から教育研究に係る計画、伊熊理事から法人運営に係る計画の説明があった。

##### イ 主な意見・質問

・文明観光学コースと匠領域は開講から1年経過したということだが、学生の評判はどうか。また、今後就職に関する事など見通しはどうか。

→ 文明観光学コースは、12月にゼミ選択のガイダンスを行った際は、40名程だった。学生の評判は上々である。匠に係る科目は、22, 3人の受講がある。2年次後期に領域選択を行い、各領域へ10人~20人が所属することを考えると、匠領域は人気があると思う。

・本学は、定住外国人学生もいて、多文化共生の研究もしているが、公認日本語教師の資格取得に関する取組はどのようになっているのか。

→ 日本語教員養成課程は、本学では10年前から設置しており、毎年10~15名の修了生がおりすでに100名余の卒業生を輩出している。

#### (2) 公立大学法人静岡文化芸術大学 令和2年度 収支予算(案)について

##### ア 趣旨

事務局から、令和2年度年度収支予算の説明があった

##### イ 主な意見・質問

・静岡県文化プログラムの進捗はどうか。

→ 今年度から進めているが来年度も継続することとなっている。準備は順調に推移している。

### 3 報告事項

#### (1) 静岡文化芸術大学役職教員の選任について

事務局より次期役職教員の選任について説明があった。その後、学長より選任の趣旨についての説明があった。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症に関する学内対応について

事務局より学内対応状況について説明があった。レジュメの中で、春休みを利用して海外に渡航している者として、レベル2以上の地域に滞在中の者については、3月10日現在全員帰国したという報告があった。

以上